

企画展「鬼と女のものごとり」

鬼と女性のかかわりとは…？

女はなぜ鬼とかかわることになったのでしょうか。

なぜ、恐ろしい鬼の姿に変わってしまったのでしょうか。

その背景には、はかり知ることのできない哀しみ、怒り、憎しみなどが、渦巻いているのかもしれない。

鬼の館令和元年度下半期をふりかえって

新春大乘神楽公演 2020

1月12日（日）新春大乘神楽公演2020が開催されました。毎年数多くの神楽ファンを楽しませている当公演は、今回から主催者が北上市大乘神楽保存会連絡協議会になりました。市内の大乘神楽団体5団体が出演し、勇壮で華麗な舞を11演目披露しました。

今年も子どもたちが大人に負けじと演目を披露。宿大乘神楽の演目「七五三切」では、3人の舞い手が気迫あふれる舞で鑑賞者を魅了しました。また、村崎野大乘神楽の「龍殿」では、舞い手の2人が母と子という親子共演が実現しました。鑑賞者は、親子で切磋琢磨する姿に目を細めていました。

築館大乘神楽は、昨年11月に宿大乘神楽から大乘神楽最高の祈禱舞「榊舞」を伝授され、保存会の名称を築館大乘神楽に改めました。今回の公演では、舞台の背景に築館大乘神楽の新しい純白の神楽幕が鬼の館で初めて張られました。演目が披露されると、新たな門出を祝うかのように、鑑賞者から惜しみない拍手が送られました。



演目「龍殿」

ワールドウィーク

ハロウィンの時期に合わせて、世界の鬼的存在に親しむこの1週間。今年度も、有限会社かぎや菓子舗さん、障がい者福祉施設北萩寮さんからお菓子をご提供いただき、期間中にお越しいただいた小学生以下の方へプレゼントしました。今年度の特集は、タイ。きらびやかな装飾が施されたタイのお面は、日本のお面の制作にも使われている張り子の技法によってつくられています。お菓子と一緒に配りした、紹介カードや、ワークショップから、東南アジアの鬼的存在をご紹介しました。



期間中はたくさんの保育施設からご来館いただきました

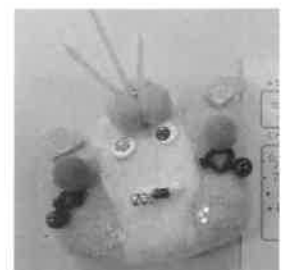
冬休みワークショップ

ワークショップでは、「ようかいペーパーウェイト」を実施しました。前回実施の際もご好評をいただいたこのワークショップでは、石ころに羊毛フェルトを定着させて、ようかいや鬼をテーマにした、オリジナルのペーパーウェイトを作成します。さらに、完成した作品には、ようかいの名前と紹介文をつけて、一緒に参加した皆さんで鑑賞も行います。

小学生を対象として行い、当日は、お子さんといらしていたおうちの人の手も借りながら制作している様子が見られました。ユニークな鬼や、ようかいのアイデアをご家族と一緒に考えながら、楽しく鬼の工作を体験いただけたかと思います。



普段は葉っぱに隠れている4つ目の鬼



ミカンが好きなようかい
こっそりミカンを食べちゃうかも

わんぱく講座「鬼剣舞体験」

冬季わんぱく講座にチャレンジしたのは、11人。小学生が4人、幼児が7人でした。小さなお子様の受講が増えるに伴い、練習用の短い刀が不足していたのですが、昨年末に岩崎鬼剣舞保存会の高橋見一さんよりご寄贈いただき、大いに助かりました。

発表会当日は、自信を持った踊りを披露することができました。閉講式の中で、受講生代表の佐藤楓芽さん（黒沢尻西小2年）は優しかった鬼剣舞の先生とまた踊りたいこと、新しい友達ができ一緒に踊れて楽しかったことなどを発表してくれました。また、将来の夢の一つに「鬼剣舞の先生になること」を加えた子どももいました。



手をとって指導するデンデンコ（鬼剣舞）の先生、とってもやさしい

埋蔵文化財展

2月22日（土）～3月22日（日）まで、第27回埋蔵文化財展（北上市教育委員会主催）が開催されました。北上市立埋蔵文化財センターは、設立から今年で30周年を迎えました。その間、北上市内では71遺跡215地点の遺跡を調査しています。今回の展示では、30年間の調査の中から特に重要な成果が得られた遺跡について展示・解説しました。その中でも、国見山廃寺跡（国指定史跡）のコーナーでは、発掘された瓦や鏡などが展示されました。観覧者は、展示資料から山林寺院の在りし日の姿を想像し、思いを馳せている様子でした。



発掘された瓦

福豆鬼節分会



過去最長！22.2メートル！

俵を積み上げました。そのほか、鬼剣舞をはじめとする民俗芸能公演やゲーム、お餅のおふるまいなども行い、盛会のうちに終了しました。

一方、裏方ではインターンシップで参加していた北上翔南高校の生徒が大活躍。イベント中はもちろん、準備から後片付けまで一生懸命に頑張っていました。皆さんありがとうございました。

「福は内、鬼も内！」と豆まき、餅まきに登場した鬼は岩崎地区のどこかで皆さんをお待ちしています。ぜひ来年も会いに来てくださいね！

新収蔵資料のご紹介

主任学芸員 相原 彩子

当館では、鬼にまつわる様々な資料を収集しています。今年度は、鬼剣舞を情熱的に描き続けた鬼柳吉治おにやなぎよしはる氏の作品を収集しましたので、ご紹介します。鬼柳氏は大正14年北上市内に生まれました。小学校の教員として教鞭をとる傍ら、通信教育や短期大学などで絵画を学び続け、公募展や絵画サークルに数多くの絵画を定期的に出品しました。作品の主なテーマは、鬼剣舞が躍動的に踊る姿で、様々な角度で描き続けました。夫人のお話によると、鬼剣舞が出演する公演やお祭りとがあると、必ず踊る姿を見に出かけ、写真は撮影せず、勇ましく踊る姿を脳裏に焼き付けていたそうです。そのためなのか、鬼柳氏の描く鬼剣舞の姿は、どこか幻想的で威厳に満ちた姿で描かれています。

今回収集した資料は、「鬼剣舞（平和祈願）」という作品です。縦140cm、横172cmのとても大きな絵画で、鬼剣舞の踊り手が演目「三人加護」を踊る姿が描かれています。鬼柳氏は、鬼剣舞は亡くなった人々を供養し、平和を祈願して踊るものと捉えていました。今回収集した作品についても、鬼柳氏の平和を願った祈りの心が垣間見えるようです。



鬼柳吉治「鬼剣舞（平和祈願）」

鬼カフェ

No.9

岩崎鬼剣舞保存会

会長 やえがし しゅんいち 八重樫 俊一 さん



八重樫俊一さん 工房にて

八重樫俊一さんは、岩崎鬼剣舞保存会の会長です。現在68歳ですが、オカドで笛を吹く、バリバリの現役師匠です。鬼の館では、年に数回の公演を行っていただいたり、当館事業の「鬼っ子わんぱく講座鬼剣舞体験」の講師をお願いしたりと、様々な形で協力いただいています。

八重樫さんと鬼剣舞の出会いは、小学校にさかのぼります。地域一体となり鬼剣舞を継承している土地柄ですので、学校で行われていた鬼剣舞道場で踊り始めました。本格的に始めたのは、地区の青年会に入った17歳ころです。庭元の家到他地域から鬼剣舞を習いに来ていた人たちと一緒に練習したそうです。

時は流れ、師匠として伝授式を迎えた43歳ころから笛を吹き始めます。今もオカドとして各地の公演で活躍しています。

そして現在、農閑期を利用して鬼剣舞の面を作っています。師匠は名人小田島昌悦氏です。大工をしていた八重樫さんにとって、面を彫る仕事は理にかなっていたのかもしれませんが。ある日、工房を訪ねてみました。彫りかけの面のほか、色を塗り乾燥中の面、仕上げ塗りを待つ白面など、十数個置いてありました。後輩の踊り手のためや他団体の依頼に応じ、黙々と彫り続ける八重樫さん、これからもきっと、その手から多くの面が生まれてくることでしょう。

※オカド…鬼剣舞の囃子方を指す言葉



乾燥中の面

令和2年度

上半期事業のお知らせ

□ 特別展・企画展

- ・4月25日(土)～6月14日(日)
ギャラリー鬼の館「写真6人展」
- ・7月11日(土)～10月11日(日)
企画展「もののけ図鑑2020～川の河童、山の天狗～」

□ イベント

- ・5月5日(火) こどもの日わくわくイベント
ご家族でお楽しみいただける、様々な体験活動をご用意します。
- ・9月5日(土) 逢魔が時ナイトミュージアム
鬼が現れると言われる「逢魔が時」に合わせて開館時間を延長します。

□ 芸能公演

- ・4月26日(日) 北藤根鬼剣舞
- ・5月3日(日) 鬼柳鬼剣舞め組
黒沢尻鬼剣舞
- ・5月24日(日) 岩崎鬼剣舞
- ・6月14日(日) 第26回大乘神楽大会
- ・6月28日(日) 黒岩鬼剣舞
- ・7月26日(日) □内鬼剣舞
- ・8月14日(金) 岩崎鬼剣舞
- ・8月23日(日) 相去鬼剣舞
- ・9月27日(日) 御免町鬼剣舞

□ 体験会・講座

- ・7月～8月 夏季鬼剣舞体験
鬼っこわんぱく講座(全6回) ※要申込
鬼剣舞ちょっぴり見学体験会(全2回)
- ・7月～8月 夏休みワークショップ ※要申込

— おに散歩 —



お松の住処「石ケ戸」

“鬼神”とよばれた女山賊の岩屋

青森県十和田市の「奥入瀬溪流」には、鬼神のお松の住処といわれる岩屋「石ケ戸」があります。鬼神のお松は、夫を殺害されたことをきっかけに、様々な手段で仇討ちをします。ときには、自らの美しさを利用し、敵を油断させます。仇討ちを成し遂げたお松は、その後、数十人の山賊に襲われますが、山賊の親方を倒し、代わりに自分が山賊の親方になります。まさに、鬼神のような強さとたくましさをもつ女性です。石ケ戸には、お松がこの岩屋を住処にし、旅人から金品を奪っていたという伝説が伝わっています。

退任のご挨拶

主査 中野 恵理子

専任研究員 佐藤 考朗

3月末をもって、鬼の館から異動することとなりました。4年という短い期間でしたが、環境に恵まれ充実した時間を過ごすことができました。採用後、初めての配属先ということで、とても思い出深い場所となりました。民俗芸能に情熱を注ぐ保存会の皆さん、地域を愛する岩崎地区の皆さんをはじめ、たくさんの“熱い”方々に鬼の館は支えられています。これからも鬼の館へ熱い応援をどうぞよろしくお願い致します！

工作ワークショップなどの教育普及事業を中心に担当して参りましたが、この度退任することとなりました。事業を振り返るにあたり大変印象に残っていることは、工作ワークショップへ参加いただいた方々が、作るものに向かってとても楽しそうに手を動かしていた光景です。そうした楽しさまで生み出してしまうことも、鬼の1つの側面なのかもしれないと感じました。そんな楽しさの一面とも合わせて、今後も利用者の皆様には鬼たちに親しんでいただければと思います。

下半期事業報告

●企画展・特別展

企画展「鬼と女のものごたり」
11月2日(土)～2月11日(火・祝) 7,925人
パネル展「オニの思い出」
3月1日(日)～4月5日(日) 開催中

●ワールドウィーク

10月28日(月)～11月2日(土) 434人

●芸能公演

10月6日 谷地鬼剣舞 観客 228人
10月27日 二子鬼剣舞 観客 110人
11月3日 滑田鬼剣舞 観客 123人
12月1日 鬼柳鬼剣舞 観客 116人
3月22日 御免町鬼剣舞 中止

●福豆鬼節分会

2月2日(日) 4,494人

●鬼っこわんぱく講座

冬季鬼剣舞体験 参加者 11人
1月11日・18日・25日・26日・2月1日・2日
鬼剣舞ちよっぴり見学・体験会 参加者 27人
1月25日・26日

●鬼学講座

第1回 3月20日 中止
鬼女の心を探る～能楽講座～
第2回 3月21日 中止
鬼の心を探る～体験学習～

●鬼ZZ・プレイミュージアム 10月1日～3月13日

和紙面づくり (イベント等での面作りを含む総数) 参加者 90人
鬼剣舞衣装着衣体験 参加者 30人
冬休みワークショップ
12月27日 鬼剣舞和紙お面づくり 参加者 11人
1月13日 ようかいペーパーウェイト 参加者 18人
出前講座 2件 参加者 14人

利用案内

開館時間 午前9時から午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日 ・12月～3月の月曜日
・12月～3月の国民の祝日の翌日
(土・日・月曜日の場合は火曜日)
・館内整理日(11月27日～11月30日)
・年末年始(12月28日～1月4日)

交通利用 ・JR北上駅より車で約20分
・東北自動車道「北上江釣子I.C.」秋田自動車道「北上西I.C.」よりともに車で約15分

学芸ルームのかたすみで・・・

わんぱく講座に参加した子供たちは本当に鬼剣舞が好きで、自分の意志で挑戦し、一生懸命頑張っています。将来この子どもたちが伝統を守っていくと思うと頼もしく感じました。また、保存会の方々の想いが後世に伝えられていることに感動しました。(及)

観覧料

区分	個人	団体 (20名以上)	共通観覧券
一般	500円	400円	700円
高校生	240円	180円	300円
小中学生	170円	120円	200円

- *未就学児は無料です。
- *共通観覧券は鬼の館の他、北上市立博物館、北上市立利根山光人記念美術館でご利用いただけます。各施設1回ずつ観覧でき、有効期限は発効日より1年間です。
- *北上市定住自立圏(北上市、奥州市、金ケ崎町、西和賀町)に居住する小中学生は無料となります。
- *身体障害者手帳、療育手帳、精神障害保健福祉手帳をお持ちの方は無料となります。
手帳をお持ちの方1名につき、付添の方1名も無料となります。
- *北上市消防団員は無料となります。団員1名につき、同行者5名まで無料となります。
受付の際に消防団員カードをご提示ください。



北上市立鬼の館だより

第 52 号 2020(R2). 3.31

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎16地割131番地

TEL 0197(73)8488 FAX 0197(73)8508